

11月4日：ソロスと彼のボルシェビキたちが、紫革命の熱い部分に入る

本当は何が起こっているのか？

【訳者注】これが日本で報道されるとしたら、わかり易く、トランプを悪の根源として説明し、疑問を挟むことは許されないだろう。NY タイムズが、完全に暴徒側についていることを考えても（アンティファの大広告からわかる）、それは間違いないだろう。そして世界的には、日本の犯罪国家としての色分けが、ますます鮮明になっていくだろう。アンティファのプラカードに、「ペド処罰はやめよ」と書いてあるのに注目されたい。これを政府が応援している。大暴動（大革命）は国家の大事業でもある。

State of the Nation

October 31, 2017



NOV. 4 IT BEGINS

もし代替メディアが、9・11 ニセ旗作戦が、政府によって行われることを警告して、2001年9月11日の前の数か月間に、何百という記事を書き立てたら、犯行者たちは計画通りにやり遂げただろうか？

何が言いたいのかというと——もし、今週末に、何も特別のことが起こらなかったとしたら、それは、代替メディアによる批判的な調査拡散のためだということである。

なぜ、リベラルたち（彼らは実は社会主義者、マルクス主義者、共産主義者だ）が、トランプ政権に対して、全面的な反逆をまだ起こしていないのか、その理由はただ一つだ。

ジョージ・ソロスは“紫革命”を誰に向けてやっているのか！

<http://stateofthenation2012.com/?p=73061>

代替メディアが紫革命についての、十分に多くの警告をまき散らしてきたために、彼らの転覆計画はことごとく妨害されてきた。

しかしこれは、犯罪者たちが、思いとどまるだろうということの意味するものでない。

キーポイント：最も留意すべきことは、これら紫革命家たちの心中は、冷血漢ボルシェビキだということである。彼らはカネをもらって働く傭兵だというだけではない。そのほとんどは、完全に精神病患者で、精神的に不安定である。現実のリーダーたちは、大体において、犯罪的に異常なサイコパスである。そのような者として、彼らはすべて、紫革命フロントの者たちに容易く操られている。

ご注意：紫革命がアメリカにやってくる——ジョージ・ソロス、クリントン犯罪家族、および前オバマ政府のご好意による <http://stateofthenation2012.com/?p=56307>

何十年にもおよぶ社会操作

自分がさらされている社会操作が、どれくらいのものかを理解しているアメリカ人は、ごくわずかである。

今日のウルトラ・リベラルの精神構造は、国家を社会主義の方へ動かし、そこから共産主義へもっていく、ひそかな意図をもつ、あの計画が産み出したものである。

何十年におよんで、**文化マルクス主義**の指図する、意図的なアジェンダが実現した後、多くの人々はその影響力に屈した。それは多くの項目があり、多岐にわたっている。そしてそれはアメリカ社会にとって、大いに破壊的なものであり続けている。

実際、オバマの長い8年間に、文化マルクス主義には前例のない強化が見られ、それが社会

的な基盤に取り返しのでない亀裂をもたらした。これが、ジョージ・ソロスが、2度にわたって、バラク・オバマの主たるスポンサーになった理由であり、それはまた、ソロスがヒラリー・クリントン候補を後押しした理由でもある。

この急速に悪化していく難局は、画期的規模の国家的な災難になってしまった。なぜならそれは、密かな、気づかれない、文化マルクス主義のアメリカへの押し付けであり、陰険なやり方で破壊を引き起こしているからである。文化マルクス主義はアメリカを破壊している。

<http://stateofthenation2012.com/?p=66300>

Soros/Clinton "Purple Revolution"
Don't expect Bill & Hillary to give up Power quietly...

Purple is the color of George Soros vile political operations:

- Soros-style Street Protests & Political Disruption
- Anti-Trump Street Art & Political Graffiti
- Anti-Trump Music
- Soros-funded Political Groups
- Propaganda War... Anti-Trump Press & Broadcasters
- Undermine public confidence in the Trump Administration...from the Outset

**President-Elect Trump & Trump Supporters Must be on Guard
Against the Soros/Clinton Purple Revolution
As A Threat To ALL Americans!!!**

http://www.zerohedge.com/news/2016-11-11/clintons-and-soros-launch-americas-purple-revolution 12 November 16 @CCINNC

2017年11月4日、土曜日

もし事態が計画通りに進めば、紫革命家たちは、彼らの蜂起を次のレベルにまでもっていくつもりである。彼らは、この土曜日、11月4日を、“狩人の月”あるいは“血の月”の、彼らの非常に間違った革命を始める日として、特定している。

アンティファは、11月4日を、米政府の転覆のための D-Day として指定している (ビデオ)

<http://stateofthenation2012.com/?p=85002>

いったい誰、何者が、このテロリスト事業の背後の勢力なのだろうか？

“ファシズムを拒絶せよ”は一つの例に過ぎない。彼のウェブサイトを目に読んでみれば、彼らがテロ組織であるとともに、トランプに関するすべてへの憎しみによって、結束した反逆者グループであることがわかる。REFUSE FASCISM のフェイスブックは、彼らの無政府主義を実現することに、どれほど彼らが必至になっているかを示している。

REFUSE FASCISM は 11 月 4 日に始まり、トランプ政権を転覆するために動員をかける

<http://stateofthenation2012.com/?p=88043>

今度の土曜日は、全国的に、挑戦と暴力の計算され統制された行動が、起こる予定になっていた。“ファシズムを拒絶せよ” は、これらボルシェビキたちが実行する計画の、全体的綱領の一つの柱にすぎない。他にも密かな動きや策動があつて、これらは注意深く保護され、秘密になっているので、リアルタイムで用心しなければならない。アンティファは 11 月 4 日に、大規模な蜂起を計画しているのか？ <http://stateofthenation2012.com/?p=85895>

今度の土曜日に何が起ころうが、起こるまいが、紫革命リーダーたちが米大統領に戦争を仕掛けるために、この日付を用いることは間違いない。隠れた作戦指揮者たちもまた、彼らの共産主義ゲーム・プランの効果をテストしようとしている。

11 月 4 日反乱の革命的共産党の“第一動者” <http://stateofthenation2012.com/?p=87902>

防衛省は 11・4-6 期間中に国家的停電を計画

アマチュアラジオ全国連合 (NAAR) によれば、米国防省は、11・4-6 の間、合衆国全土に、“伝達相互可動性” の演習行動をシミュレートするという。10 月 24 日に発せられた通告が、広くメディアに行きわたっていなかったのは、この演習が全面的な電気配線の崩壊を模したもので、一般民衆の恐怖を煽る可能性があったからである。

(ソース:「防衛省は 11 月のアンティファ抗議期間中に、太陽嵐による国家的停電を演習」 <http://themillenniumreport.com/2017/10/dod-plans-solar-storm-based-national-blackout-drill-during-antifa-protests-in-november/>)

防衛省の演習のタイミングほど、疑わしいものはない。もちろん、これをそれほど疑う理由は、これまでに、政府の演習行動が、さまざまなニセ旗テロ攻撃や他のブラック作戦と、全く同じ日に起こっているという、注目すべき暗合があるからである。[記者: 昨年のフランスのテロでもそれがあつた。報道されないだけである。]

真相運動が今では、いつでも政府——市政府、州政府、連邦政府——の演習が通告されると、ニセ旗攻撃への出動準備をすることになっている。政府役人たちが繰り返し証明していることは、このような演習を合図にして、ショッキングでタイミングを合わせたテロ事件を起こしている。

この予定した防衛省の演習は、どのようにして、この土曜日の革命活動と共に（おそらく彼らを支持して）行われるのだろうか？ その時になってみなければわからない。

11・4： Antifa Day！ “全面的電送線シャットダウン演習”（ビデオ）

<http://stateofthenation2012.com/?p=88185>



11月4日の満月は、Hunter's Moon、またの名を“Blood Moon”という。

結論

11月4日が、紫革命の本格的始まりに選ばれた日付であることには、特別の理由がある。

トップの意思決定者たちが、ハロウィーンの週の中の満月を選んだのは、その期間に支配的な、浮動的で無政府主義的なエネルギーのためである。よく知られていることだが、精神異常者は常に満月の夜に施設を脱出しようし、特に、普通は10月の“血の月”の夜にそれを試みる。

このお祭りで念入りな仮装をした者たちは、オカルト占星術の黒魔術、カバラ数霊術、またタルムード・フリーメーソン術を使うことさえある。こうした問題はここでは論じられないが、抗議暴動/暴動のあらゆる時間や正確な場所は、念入りに予定されているとだけ言っておこう。

この扇動の週末につき込まれた、幅広い計画や予定を考えるとすれば、何か**大きな**ことが、米国48州で起こると考えられる。

正確にどこで、何が起こるかは、秘密ということが常に、彼らの心理作戦の一部なので、わからない。

しかし、代替メディアが、真相運動の人たちに、11月4日のこうした裏切り行為を気づかせる功績を果たしてきたので、それらの多くは回避されるであろう。